

「この宮が廢墟となっているのに、あなたがただけが板張りの家に住む時だらうか。今、万軍の主はこう言われる。あなたがたの歩みをよく考えよ。」

ハガイ書 1章4・5節

イスラエルの民はバビロンによる捕囚の

地より帰還し、希望に燃えて神殿再建に取りかかりました。しかし、サマリヤ人の妨害で基礎工事をしただけで工事は中断され、多くの時が経っていました。その間に人々は神殿建設の熱意を失い、次第に自分たちのことにかまけ、神殿再建の使命を忘れてしまったのです。そのような時、神はハガイを預言者として立てられたのです。ハガイは、干ばつや飢饉が起きたのは、神殿が荒れ果てているのに自分の家のことばかりを考

えるからだ、と告げます。

ユダヤ人たちは、自分たちの家のことが忙しい、家のことが大変だから神殿にまで手が回らない、もつと余裕ができてから、ということになったのでしょうか。「そんなこと出来ません」「私には出来ません」という言葉をよく耳にします。私たちは、自分に何が出来るか、自分は何をすれば良いのか、と考える前に、私にはできない、と答えることが多いのではないのでしょうか。私たちは、大切なものを後回しにするか

ら何もかもうまくいなくなってしまうのです。一番大切なものが欠けているからすべてが空回りしていることに気付くべきです。だからこそ、主は「あなたがたの歩みをよく考えよ」と言うのです。本当に大事なものは何なのか、優先順位の一番は何なのか、そのことが問われているのです。

ハガイの言葉を聞いた人々は、神の言葉によつて動かされ、その言葉を真剣に聞いて自らが行動したのです。神の言葉は人を動かすことが出来るのです。わたしには出来ないという人をも動かす言葉なのです。神は、私たちにすばらしいものを見せよう、すばらしいことを体験させようと招いていくのださるのです。その神の招きに応えようではありませんか。

【報告 消息】

・外階段ペンキ塗り 林修養生、荻野牧師が、1階から4階のサビが出ている箇所の補修を行いました。

・外階段4階踊り場の雨樋修繕

若月伊佐久兄が御苦労くださいました。

感謝します。

・岡田栄治兄 山口つや子姉・下斗米ヒデ姉の甥にあたり脳梗塞のため介護施設で過ごしておられましたが、22日に体調を崩して召されました。28日にご親族6名が参列し、荻野牧師の司式で火葬しました。突然にお身内を亡くされたご親族に主の慰めがあるようにお祈りください。

・9月も残暑が続くようです。高齢の方、お体に弱さを抱えている方が特に守られるようにお祈りください。

■8月23日 礼拝出席者数 報告

(重複出席者数は除いています)

第1礼拝 32名

第2礼拝 33名

小学科礼拝 小5名 中高2名

■支援献金募集 九州南部等豪雨災害

支援金を受け付けています。被災地域、被災者の方を覚えて祈りましょう。また、これから台風シーズンを迎える日本各地が守られるように祈りましょう。

蒲田教会では先週報告した奥多摩バイブルシャレーのほかに、これまでキャンブなどで関わりのあるいくつかの団体へ世界宣教献金より献金をささげました。

■教会メールアドレス

zion@am.wakwak.com

メールには必ずお名前をご記入ください